

指導教諭授業公開（南方小学校 淵上指導教諭）のレポートです！

管内の先生方を対象に実施している指導教諭による授業公開も後半戦に入りました。

今回は10月2日（月）に実施した延岡市立南方小学校 淵上奈津子 指導教諭の授業公開の様子をレポートします。

公開授業は、第6学年 算数科「比とその利用」の学習でした。授業前のオリエンテーションでは、授業者の意図や児童の実態に加え、「ひなたの学び」に基づく参観の視点等についても説明がありました。

【参観の視点】

- 児童は問いをもって取り組んでいたか？
- ペアやグループでの話し合いは、本時のねらいの達成に有効であったか？
- 児童は「比1つ分」に着目して問題を解くことができるようになったか？



～授業の様子～

子どもたちは、導入で既習事項を振り返った後、例題「砂糖と小麦粉の重さの比を2：5にしてケーキを作ります。小麦粉を150gにすると、砂糖は何gありますか。」の題意を線分図に表すことで「比1つ分」を使う求め方について考えていきました。

淵上先生の綿密な授業計画の下、適切な指示・発問でテンポよく学習が進められました。また、適宜ペアで説明し合う活動が設定されたことで、一人一人が自分の考えを確かにしていくことができました。



互いのタブレットを見せ合いながら考えを伝え合う子どもたち



～事後研究会の様子～

授業参観の視点に沿って、子どもたちの姿を振り返りながら活発に意見交換が行われました。めざす子どもの姿（ゴールイメージ）や目標達成のための手立て（プロセスイメージ）に照らした協議は、教材研究の大切さを再認識するよい機会となりました。

指導教諭による授業公開では、事前に参加者から授業に関する課題や悩みを募り、ニーズに応じた授業公開と事後研究会を設定しています。各指導教諭の授業への熱い思いに触れ、授業づくりについての意見交換ができることが大きな魅力です。



～参加者の感想～

- 単元全体を見通して計画を立て、授業内容を精選することが大切だと思った。
- 子どもの実態に応じた指導過程にすることや、話し合い活動の仕方、図の提示の仕方について深く学ぶことができた。
- ロイロノートを上手に活用しており、個人やグループの活動で分かり易く適切に使えていたことに驚いた。板書や掲示物等、学びの多い研修会だった。
- 先生方の授業を見て真似することで、自分の中の授業の選択肢を沢山もっておきたいと思った。